

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-167182  
 (43)Date of publication of application : 24.06.1997

(51)Int.Cl. G06F 17/60  
 G07G 1/12

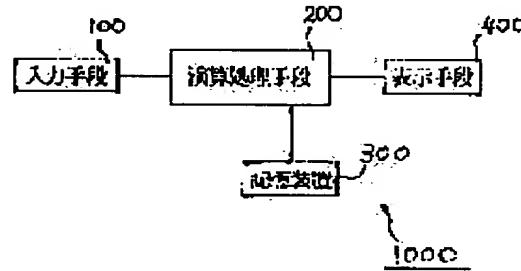
(21)Application number : 07-347256 (71)Applicant : NIPPON SYST DESIGN KK  
 (22)Date of filing : 14.12.1995 (72)Inventor : NOTOMI SEIJI

## (54) SYSTEM AND DEVICE FOR MANAGING CUSTOMER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To promote the will of purchase by selecting a correspondent discount rate out of plural prescribed discount rates and displaying it based on the purchase amount data of customer for a fixed period in the past corresponding to the identification data of customer card.

**SOLUTION:** An input means 100 reads the identification data of card storing the identification data of customer, and an operation processing means 200 fetches the identification data from the input means 100. Based on these identification data, the operation processing means 200 reads the purchase amount data of relevant customer from a storage device 300 storing the purchase amount data of customer for the fixed period in the past, selects the correspondent discount rate out of plural discount rates decided in advance and displays this discount rate on a display means 400. Thus, when nothing is newly purchased or the purchase amount is a little, the discount rate is decreased but when merchandise is purchased and the total purchase amount is increased, the discount rate is increased so that the purchase will of customer can be promoted.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 31.01.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 31.08.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-167182

(43)公開日 平成9年(1997)6月24日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 4 0 Z
G 0 7 G 1/12	3 6 1		G 0 7 G 1/12	3 6 1 E
			G 0 6 F 15/21	3 1 0 Z

審査請求 有 請求項の数12 FD (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平7-347256

(22)出願日 平成7年(1995)12月14日

(71)出願人 596006260

日本システムデザイン株式会社  
東京都中野区弥生町2丁目15番17号

(72)発明者 納富 誠治

東京都中野区弥生町2丁目15番17号 日本  
システムデザイン株式会社内

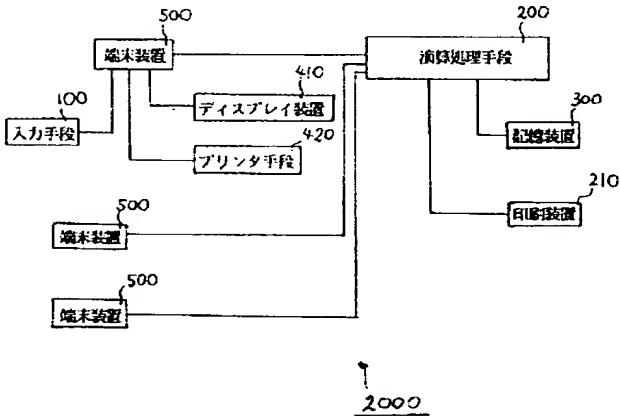
(74)代理人 弁理士 和泉 雄一

(54)【発明の名称】 顧客管理システムと顧客管理装置

(57)【要約】

【目的】 本発明は、顧客管理システムと顧客管理装置に係わり、特に、顧客の過去一定期間の購買額データを管理し、例えば、購買額データに比例して増減する値引き率パターンの中から、対応する割引率が決定する様になっており、顧客の購買実績により、割引率が決定、及び変動する顧客管理システムと顧客管理装置とを提供することを目的とする。

【構成】 本発明は、顧客のカードの識別データを読み取り、識別データに基づき、識別データに相当する顧客の過去一定期間の購買額データを記憶装置から読み取り、購買額データに基づき、予め定められた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、選択された値引き率を表示手段から表示する様になっている。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 顧客のカードの識別データを読み取る第1工程と、この識別データに基づき、この識別データに相当する顧客の過去一定期間の購買額データを記憶装置から読み取る第2工程と、この購買額データに基づき、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択する第3工程と、この選択された値引き率を表示手段から表示する第4工程とから構成された顧客管理システム。

**【請求項2】** 顧客の購買時には、その購買価格を前記記憶装置に累積記憶させ、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動可能とする請求項1記載の顧客管理システム。

**【請求項3】** 記憶装置には、各顧客毎に、少なくとも氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データが登録されている請求項1記載の顧客管理システム。

**【請求項4】** 記憶装置には、更に、性別、生年月日、家族登録データが記憶されている請求項3記載の顧客管理システム。

**【請求項5】** 各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、ダイレクトメールを印刷する第5工程を含んでいる請求項1～4記載の顧客管理システム。

**【請求項6】** 年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率を適用する請求項1～5記載の顧客管理システム。

**【請求項7】** 顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取るための入力手段と、この入力手段の識別データを取り込むための演算処理手段と、この演算処理手段に接続され、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶するための記憶装置と、前記演算処理手段の演算結果を表示するための表示手段とから構成されており、演算処理手段は、前記識別データに基づき、前記記憶装置から該当する顧客の購買額データを読み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この値引き率を前記表示手段に表示することを特徴とする顧客管理装置。

**【請求項8】** 複数の端末装置と、この端末装置に接続された演算処理装置とから構成されており、前記端末装置には、顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取るための入力手段と、前記演算処理装置から送られたデータを表示するための表示手段とが設けられており、前記演算処理装置には、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶するための記憶装置が接続されており、前記端末装置は、入力手段からの識別データを前記演算処理装置に送出する様になっており、演算処理手段は、前記識別データに基づき、前記記憶装置から

該当する顧客の購買額データを読み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この前記値引き率のデータを前記端末装置に送出し、前記端末装置に接続された表示手段に前記値引き率を表示する顧客管理装置。

**【請求項9】** 端末手段の表示手段は、ディスプレイ装置と、プリンタ装置とから構成されており、端末手段は、前記値引き率を表示手段に表示すると共に、顧客の購入品の定価と割引率とから、販売価格を演算し、表示手段に表示する請求項8記載の顧客管理装置。

**【請求項10】** 記憶装置には、各顧客毎に、氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データ、性別、生年月日、家族登録データ等が記憶されている請求項7～9記載の顧客管理装置。

**【請求項11】** 演算処理手段には、印刷装置が接続されており、演算処理手段が、記憶装置に記憶されている各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合と認められる場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、前記印刷装置が、ダイレクトメールを印刷する請求項7～10記載の顧客管理装置。

**【請求項12】** 演算処理手段は、年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率とする請求項7～11記載の顧客管理装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、顧客管理システムと顧客管理装置に係わり、特に、顧客の過去一定期間の購買額データを管理し、例えば、購買額データに比例して増減する値引き率パターンの中から、対応する割引率が決定する様になっており、顧客の購買実績により、割引率が決定、及び変動する顧客管理システムと顧客管理装置に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** 近年の不況で、流通業界は顧客の減少と、客単価の低下に苦しんでおり、その打開策が提案されている。

**【0003】** 例えば、価格破壊と称する値引き販売や、懸賞品を提供する等の販売促進が行われている。

**【0004】** 更に、カードによる顧客管理が普及した今日では、顧客の購入金額に応じてポイントを発行し、そのポイントに該当する金額を次回の購入時において割り引くポイントカードが出現している。

**【0005】** このポイントカードは、例えば、購入金額の5%又は7%のポイントを発行し、顧客は、次回の購入時にポイントに該当する金額の割引を受けるものである。このポイントは、次回に使用してもよく、積み立てて使用することもできる。

【0006】ポイントカードは好評となり、同様なシステムを追随して導入する店舗が出現しており、流通業界では一定の評価を得ている。

#### 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記のポイントカードは、購買金額の高い、いわゆる上得意の顧客と、比較的購入金額が少ない一過性の顧客とを差別することのないシステムとなっており、顧客の購入意欲を飛躍的に向上させることができないという問題点があった。

【0008】特に、購入機会の少ない顧客や、ポイント使用可能店舗から遠距離にある顧客等は、次回の購入の購入計画が不明なことから、カードの作成にも応じないこともあった。

【0009】更に基本的には、ポイントを積み立てるものであるから、他人に使用されるとポイントの実質的減少を伴うことが多く、他人にカードを貸す可能性もなく、会員の増大、販売高の飛躍的向上は望めないという問題点があった。従って、家族や知人等を多数参加させ、購買金額を累進的に増加させることができなかつた。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】本発明は、顧客のカードの識別データを読み取る第1工程と、この識別データに基づき、この識別データに相当する顧客の過去一定期間の購買額データを記憶装置から読み取る第2工程と、この購買額データに基づき、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択する第3工程と、この選択された値引き率を表示手段から表示する第4工程とから構成されている。

【0011】また本発明は、顧客の購買時には、その購買価格を前記記憶装置に累積記憶させ、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動可能とすることもできる。

【0012】更に本発明の記憶装置には、各顧客毎に、少なくとも氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データが登録することもできる。

【0013】そして本発明の記憶装置には、更に、性別、生年月日、家族登録データが記憶することもできる。

【0014】また本発明は、各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、ダイレクトメールを印刷する第5工程を含むこともできる。

【0015】そして本発明は、年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率を適用することもできる。

【0016】更に本発明の顧客管理装置は、顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取るための入力手段と、この入力手段の識別データを取り込むための演算処理手段と、この演算処理手段に接続され、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶するための記憶装置と、前記演算処理手段の演算結果を表示するための表示手段とから構成されており、演算処理手段は、前記識別データに基づき、前記記憶装置から該当する顧客の購買額データを読み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この値引き率を前記表示手段に表示することを特徴としている。

【0017】そして本発明の顧客管理装置は、複数の端末装置と、この端末装置に接続された演算処理装置とから構成されており、前記端末装置には、顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取るための入力手段と、前記演算処理装置から送られたデータを表示するための表示手段とが設けられており、前記演算処理装置には、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶するための記憶装置が接続されており、前記端末装置は、入力手段からの識別データを前記演算処理装置に送出する様になっており、演算処理手段は、前記識別データに基づき、前記記憶装置から該当する顧客の購買額データを読み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この前記値引き率のデータを前記端末装置に送出し、前記端末装置に接続された表示手段に前記値引き率を表示する構成となっている。

【0018】更に本発明の端末手段の表示手段は、ディスプレイ装置と、プリンタ装置とから構成されており、端末手段は、前記値引き率を表示手段に表示すると共に、顧客の購入品の定価と割引率とから、販売価格を演算し、表示手段に表示する構成にすることもできる。

【0019】また本発明の記憶装置には、各顧客毎に、氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データ、性別、生年月日、家族登録データ等が記憶する構成にすることもできる。

【0020】そして本発明の演算処理手段には、印刷装置が接続されており、演算処理手段が、記憶装置に記憶されている各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合と認められる場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、前記印刷装置が、ダイレクトメールを印刷する構成にすることもできる。

【0021】更に本発明の演算処理手段は、年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率とする構成にすることもできる。

50 【0022】

## 【発明の実施の形態】

【0023】以上の様に構成された本発明は、第1工程で顧客のカードの識別データを読み取り、第2工程では、識別データに基づき、識別データに相当する顧客の過去一定期間の購買額データを記憶装置から読み取り、第3工程では、購買額データに基づき、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、第4工程では、選択された値引き率を表示手段から表示する様になっている。

【0024】また本発明は、顧客の購買時には、その購買価格を記憶装置に累積記憶させ、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動可能とともにできる。

【0025】更に本発明の記憶装置には、各顧客毎に、少なくとも氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データが登録することもできる。

【0026】そして本発明の記憶装置には、更に、性別、生年月日、家族登録データが記憶することもできる。

【0027】また本発明の第5工程では、各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、ダイレクトメールを印刷することもできる。

【0028】そして本発明は、年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率とすることもできる。

【0029】更に本発明の顧客管理装置は、入力手段が、顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取り、演算処理手段が、入力手段の識別データを取り込み、この演算処理手段に接続された記憶装置が、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶し、表示手段が、演算処理手段の演算結果を表示する様になっており、演算処理手段は、識別データに基づき、記憶装置から該当する顧客の購買額データを読み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この値引き率を表示手段に表示することができる。

【0030】そして本発明の顧客管理装置は、複数の端末装置と、この端末装置に接続された演算処理装置とから構成されており、端末装置に設けられた入力手段が、顧客の識別データが記憶されているカードの識別データを読み取り、端末装置に設けられた表示手段が、演算処理装置から送られたデータを表示し、演算処理装置に接続された記憶装置が、顧客の過去一定期間の購買額データを記憶し、端末装置が、入力手段からの識別データを演算処理装置に送出し、演算処理手段は、識別データに基づき、記憶装置から該当する顧客の購買額データを読

み取ると共に、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この値引き率のデータを端末装置に送出し、端末装置に接続された表示手段に値引き率を表示することができる。

【0031】更に本発明の端末手段の表示手段は、ディスプレイ装置と、プリンタ装置とから構成されており、端末手段は、値引き率を表示手段に表示すると共に、顧客の購入品の定価と割引率とから、販売価格を演算し、表示手段に表示することができる。

【0032】また本発明の記憶装置には、各顧客毎に、氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データ、性別、生年月日、家族登録データ等が記憶することもできる。

【0033】そして本発明の演算処理手段には、印刷装置が接続されており、演算処理手段が、記憶装置に記憶されている各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合と認められる場合には、記憶装置のデータを取り込み、印刷装置が、ダイレクトメールを印刷することもできる。

【0034】更に本発明の演算処理手段は、年間実績が一定以上の顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とし、更に、ある特定の期間には、各顧客に特定の値引き率とすることもできる。

## 【0035】

## 【実施例】

## 【0036】「システムの内容」

【0037】図1は、本発明のシステムの内容を示す図であり、過去4ヶ月の顧客の購買額をランク別にしたものである。即ち、過去4ヶ月の購入金額の合計が80万円以上（月平均40万円以上）の顧客は、Sランクとし、過去4ヶ月の購入金額の合計が60万円以上（月平均15万円以上）の顧客は、Aランクとし、過去4ヶ月の購入金額の合計が40万円以上（月平均10万円以上）の顧客は、Bランクとし、図1に示す様に購入金額が少なくなるに従い、Cランク、Dランク、Eランク、Fランクとし、過去4ヶ月の購入金額の合計が10万円以下（月平均2万5千円以下）の顧客は、Gランクとする。

【0038】このランクに従って、Sランクは7%の割引率、Aランクは6%の割引率、Bランクは5%の割引率、Cランクは4%の割引率、Dランクは3%の割引率、Eランクは2%の割引率、Fランクは1%の割引率、Gランクは割引率なしと、予め定めている。

【0039】従って、顧客が商品を購入する場合には、まずカードを読み取り、電算機の記憶データの中から、顧客に対応する購買額データを呼び出す。そして電算機は、購買額データから、この顧客がSランクからGランクの内、どのランクに属するか判断する。例えば、Cラ

ンクであると認識した場合には、4%の割引率であることを表示手段に表示する。

【0040】端末がPOS端末である場合には、電算機と接続されているので、カードの入力により自動的に電算機と照会することができ、割引率のみならず、割引価格を計算し、ディスプレイ装置に表示させると共に、レシートに割引価格、釣り銭等を印刷することができる。

【0041】そして、顧客の購入した商品の購入金額は、購買額データの累積され、購買額データが更新される。そして、新規の購買額データとなり、購入総額によってはランクが上がる。

【0042】しかしながら、購買額データは過去4ヶ月のデータであるから、新規の購入を行わなかった場合や、購入金額が少ない場合には、ランクが下がることになる。

【0043】なお、電算機の記憶データは、購買額データに限らず、氏名、住所、商品カテゴリー別の購買履歴データ、性別、職業、生年月日、家族登録データ等を記憶することもできる。

【0044】そして、月次に前4ヶ月の購買額データを集計し、ランクが変動した顧客には、上記氏名、住所等のデータを使用してダイレクトメールを作成し、割引率の変動を通知する。

【0045】この結果、顧客は割引率の変動、特に、ランクの降下を知ることができ、ランクを上昇、又は従来のランクへの復帰を目指して、購入意欲が増大する。

【0046】更に、購入データを商品カテゴリー毎にファイルしておけば、対象となる商品に関するダイレクトメールを特定の顧客に送付することもできる。

【0047】また年間購買金額がある一定以上となる顧客に対しては、顧客の過去一定期間の購買額データに係わらず、少なくとも次年度は特定の値引き率とともにできる。

【0048】例えば、ある一定以上の年間購買金額に達した顧客に対しては、次年度は、年間を通してSランクの割引率とすることもできる。更に、多額の買物をした顧客に対しては、次年度、又は一定期間、Sランクの割引率とすることもできる。

【0049】なお、ランク、割引率等は適宜変更することができる。

【0050】更に、キャンペーン期間等には、顧客全員に一定の割引率を付することもでき、ランクのアップや、特定のランクのみ割引率の増加を行うこともできる。

#### 【0051】「顧客管理装置」

【0052】図2は、本発明の顧客管理装置の実施例を示すもので、顧客管理装置1000は、入力手段100と、演算処理手段200と、記憶手段300と、表示手段400とからなっている。

#### 【0053】入力手段100は、顧客の識別データが記

憶されているカードの識別データを読み取るためのものである。入力手段100は、カードに記憶された識別データがバーコードの場合には、バーコードリーダーであり、カードに記憶された識別データが磁気記録されている場合には、磁気ヘッドによる読み取り装置が該当する。なお識別データは、カードを保持している顧客を識別することができれば、何れの方式で記録してもよい。

【0054】演算処理手段200は、パソコン、オフコン、その他の情報処理装置であり、何れの電算機を使用することができる。

【0055】記憶手段300は、顧客の過去の購買額データを記憶するためのものであり、各顧客毎に、購買額データが蓄積されている。

【0056】表示手段400は、少なくとも割引率を表示するものであり、更に、割り引いた割引販売額を表示することもできる。

【0057】以上の様に構成された本実施例は、顧客のカードを入力手段100に入力すると、識別データが演算処理手段200に送出され、演算処理手段200は、記憶手段300から該当する顧客の過去一定期間の購買額データを呼出し、予め定めた複数の値引き率(SランクからGランク)より、対応する値引き率(ランク)を選択し、この前記値引き率のデータを表示手段400に送信する。

【0058】この結果、表示手段400に該当する顧客の値引き率が表示される様になっている。

【0059】なお、顧客の商品の購入により、記憶手段300の購買額データが累積更新する様に構成されている。従って、顧客の商品の購入に応じて、ランクが変動することになる。

【0060】次に図3は、顧客管理装置の他の実施例を示すもので、顧客管理装置2000は、複数の端末装置500、500……と、この端末装置500、500……に接続された演算処理装置200とから構成されている。

【0061】端末装置500には、入力手段100と、ディスプレイ装置410と、プリンタ装置420とが接続されている。端末装置500は、一般のPOS端末等が使用でき、ディスプレイ装置410は、POS装置の表示装置を共用することができ、更に、プリンタ装置420も、POS装置のレシート印刷装置を共用することができる。

【0062】演算処理装置200は、ホストコンピュータであるが、上述の演算処理装置200と同様に何れの電算機を使用することができる。

【0063】演算処理装置200には、印刷装置210が接続されており、ダイレクトメールの宛名、住所等を印刷することができる。

【0064】記憶手段300には、顧客の過去の購買額データのみならず、氏名、住所、商品カテゴリー別の購

買履歴データ、性別、職業、生年月日、家族登録データ等が記憶されている。

【0065】以上の様に構成された本実施例は、顧客のカードを端末装置500の入力手段100に入力すると、識別データが端末装置500から演算処理手段200に送出される。演算処理手段200は、記憶手段300から該当する顧客の過去一定期間の購買額データを呼び出し、予め定めた複数の値引き率(SランクからGランク)より、対応する値引き率(ランク)を選択し、この前記値引き率のデータを、端末装置500に送信する。

【0066】端末装置500は、割引率をディスプレイ装置410に送出すると共に、顧客の購入品の定価と割引率とから、販売価格を演算し、ディスプレイ装置410に表示すると共に、プリンタ装置420でレシート等に印刷する。

【0067】そして月次には、演算処理手段200が、記憶装置300に記憶されている各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率(SランクからGランク)の中で、対応する値引き率(ランク)が変動したか否かを判断する。演算処理手段200はランクが変動したと判断した場合には、記憶装置300の住所、氏名等のデータを取り込み、印刷装置210が、値引き率(ランク)が変動した旨を印刷し、ダイレクトメールを作成することができる。

【0068】なお、その他の構成、作用等は図2の実施例と同様であるから、説明を省略する。

【0069】更に、ランクの分類、購入額の区分、割引率、対象となる顧客の過去一定期間(4ヶ月)等は、単なる例であり、適宜変更することができる。

【0070】従って、過去4ヶ月の間に新規の購入を行わなかった場合や、購入金額が少ない場合には、ランクが下がることになる。しかしながら、再び、商品を購入して購入金額総額が増大すれば、従来のランクへ復帰したり、更に、ランクが上昇する。

【0071】よって、顧客の購入意欲が増大すると共に、ランクアップを目指して、家族や他人にカードを貸すことになり、結果的には売上の飛躍的向上を実現することができる。

【0072】そして、購入データを商品カテゴリー毎にファイルしておけば、対象となる商品に関するダイレクトメールを特定の顧客のみ送付することもできる。無差別にダイレクトメールを送付する場合に比較して、無駄がなくなり、効率的な販促を行うことができる。

【0073】そして、割引サービスに限らず、高ランク者のみの特別販売や、駐車場の無料利用時間のランク別

差別等を行うこともでき、顧客の吸引、販売額の飛躍的増加を期待することができる。

【0074】

【効果】以上のように構成された本発明は、顧客のカードの識別データを読み取り、この識別データに基づき、この識別データに相当する顧客の過去一定期間の購買額データを記憶装置から読み取り、この購買額データに基づき、予め定めた複数の値引き率より、対応する値引き率を選択し、この選択された値引き率を表示手段から表示する様に構成されているので、過去一定期間の購買額により割引率が異なり、新規の購入を行わなかった場合や、購入金額が少ないと場合には、割引率が下がり、再び、商品を購入して購入金額総額が増大すれば、従来の割引率へ復帰したり、更に、割引率が上昇するので、顧客の購入意欲が増大するという卓越した効果がある。

【0075】更に、各顧客の購買額データに基づき、該当する顧客が、予め定めた複数の値引き率の中で、対応する値引き率が変動した場合には、前記記憶装置のデータを取り込み、ダイレクトメールを印刷することができる、顧客は、割引率の低下を避けるため、購入意欲が刺激されるという効果があり、新規購入を促進することができる。

【0076】そして家族会員は、割引率の維持、向上を図るため、家族全員で購入金額の増加を目指すので、店舗の売上を飛躍的に向上させることができる。更に、知人等も参加させることができ、集客力が増すという効果がある。

【0077】

【図面の簡単な説明】

30 【図1】本発明のシステムを説明する図である。

【図2】本実施例の顧客管理装置1000の構成を説明する図である。

【図3】本実施例の顧客管理装置2000の構成を説明する図である。

【符号の説明】

1000 顧客管理装置

2000 顧客管理装置

100 入力手段

200 演算処理手段

40 210 印刷装置

300 記憶装置

400 表示手段

410 ディスプレイ装置

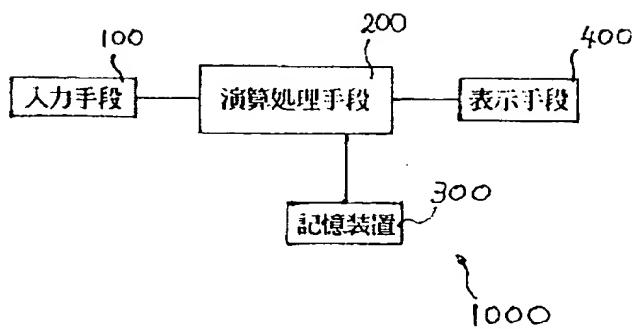
420 プリンタ装置

500 端末装置

【図1】

	過去4ヶ月合計売上	月平均	割引率
Sランク	80万以上	20万円	7%
Aランク	60万以上	15万円	6%
Bランク	40万以上	10万円	5%
Cランク	30万以上	7.5万円	4%
Dランク	20万以上	5万円	3%
Eランク	15万以上	3.75万円	2%
Fランク	10万以上	2.5万円	1%
Gランク	未満	未満	0

【図2】



【図3】

